

愛西民報

2022年
8月
第72号〔発行〕
日本共産党
愛西市委員会加藤敏彦委員長
河合克平議員
真野和久議員090 9122 3969
090 8333 3481
090 4198 4516日本共産党愛西市議団公約実現へ
学校統廃合の見直し、高い水道代の値下げ

参議院選挙

「公約実現へ引き続きがんばります」
すやま初美さんが表明

すやま初美さんは、国会で改憲勢力が多数を占める状況について、「憲法9条を生かした外交の力で戦争しない国をつくる。これからもこの立場を貫き、国会内外でその世論を大きく広げていく。一人ひとりの人生が輝く、そんな社会をつくるために、みなさんとともに頑張りを決意です」と表明しました。



小中学校統廃合方針を見直し

愛西市6月議会は、コロナ対策や、期末手当の減額、水道代の値下げを含む令和4年度補正予算3件と、道の駅周辺整備の土地取得契約などを可決。日本共産党市議団（2人）は、公約実現を求め、一般質問、議案質疑を行いました。主な内容を報告します。

立田・八開地区の小中学校を一つにする案が見直しとなった。検証委員会の提言に基づいて、小中学校適正規模等基本方針の改訂版が出されました。

まの和久議員は、今後の検討協議会の進め方について尋ね、協議会で住民の意見をしつ

かり聞いて反映させるよう求めました。



まの議員は、「基本方針の改訂版に掲載された小規模校

のデメリットが、市内の小規模校で起きているのか」とたずねました。

市は「デメリットについて学校から直接聞いていない」と答えました。

問題点が起きているか確認もせずに統廃合を進めるのは大問題です。

統廃合するより
小規模校への支援の強化を

まの議員は、「問題点が起きているかの検証もせず、デメリットを取り上げるのは不安をおおることになり問題だ。まずは、小規模校の課題解決、生徒確保のための特認校制度などを検討し、改善すべきだ」と求めました。

小中学校適正化規模等並びに
老朽化対策検討協議会とは？

○学校統廃合と校舎の老朽化対策を一緒に進め、年内に6回の会議を開き、計画の見直し、学校の組み合わせを定める

○協議会の委員は20人（有識者9・総代1・校長2・保護者4・公募4）

市民の願い実現求め、市長へ提出
高齢者福祉タクシー券を改善する署名
学校給食無料化と老朽校舎を改善する署名

日本共産党愛西市議団（河合かっぺい、まの和久、かとう敏彦）は、4月28日、2つの署名を市長に提出しました。



「高齢者福祉タクシー券の利用先制限をなくす請願書」署名649筆（合計1065筆）、「学校給食を無料にし、教育環境の充実を求める請願書」署名589筆を、三輪教育部長と八木高齢福祉課長に手渡し、請願内容の実現を求めました。

日本共産党市議団が求めていた

水道代基本料金の免除

8月から1月まで実現

水道代減免額は、

最大で10890円
最小で4620円

愛西市では、地域によって基本料金が違います。

8月から減免される6カ月間の合計金額は、愛西市水道の八開地区10890円、佐織地区7920円。

海部南部水道の佐屋・立田地区は、13口径で5808円、20口径で15840円、75口径で27720円、

00円。稲沢市水道は4620円、津島市水道は5181円です。

利用契約や、給水地域によってかなりの違いがあることが質問の中で明らかになりました。差額の補填の考えを確認しましたが、別の方法で補填する考えはないと答えました。

市の責任ある決断で、負担軽減の不平等をなくしていくことが必要です。



学校給食費無償化（6カ月間）に続き
幼稚園・保育園も7月から12月まで無償に

新型コロナウイルス禍や物価高による家計への影響が一層大きくなっている中、学校給食費の無償化は、4月から10月まで6カ月間行われています。6月議会で、3歳児から5歳児の幼稚園保育園の園児の副食費の補助を1000円増額が決まり、副食費は実質無料になります。

日本共産党市議団は、学校給食費とともに無償化を継続するよう求めました。



消費税率5%へ引き下げの請願を否決
日本共産党市議団だけが賛成

消費税減税は
最も効果のある経済対策

と賛成しました。

吉川みつこ議員が反対討論

津島民主商工会から提出された「消費税率5%へ引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める意見書の採択を求める請願」は、日本共産党のみ賛成で不採択となりました。

日本共産党は「世界では91の国と地域で消費税率の引き下げをしている。中小業者に負担となるインボイス制度は廃止すべきだ」

※インボイス制度は、取引から排除される可能性のある免税業者が適格請求書発行事業者に登録し、課税業者になること。新たに消費税を納付する。

日本共産党議員の一般質問から

学校老朽化対策は
早急に計画策定を



河合かつぺい 議員

小中学校適正規模と老朽化対策はいっしょに協議するな

河合かつぺい議員は、学校校舎の老朽化対策について、どのように計画を作り進めるのか質問。

市は「具体的な内容については、小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会を

設置し、学校規模適正化と学校施設老朽化対策を併せて協議、検討を進める」と答弁。

適正化と老朽化を同じ協議会で行うと、適正化を優先して、老朽化対策が後回しになるのではないかと質問には、新設した協議会で検討すると答弁に終始しました。

高齢者福祉タクシー見直しを
給付型奨学金市独自で創設を



まの和久 議員

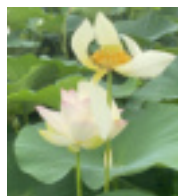
高齢者福祉タクシー
年齢制限の引き下げせよ

市「奨学金は国の仕事」と
そっけない答弁

まの和久議員は、80歳未満の高齢者の「昼間は、家族が仕事でいない。病院へ送ってもらうこともできない。家族がいても支給してほしい」という声を紹介し、家族構成の制限なく、支給年齢の引き下げを求めました。

市は「国がやるべきこと。考えていない」とそっけない答弁でした。

リニューアルするのは
道の駅より学校が先



河合かつぺい議員は、市民の「今行わなければならない、学校をリニューアルすることが優先ではないのか」との意見を紹介し、35億円という非常に多額の費用がかかる大規模開発はいっ

たん立ち止まって再考するよう求めました。

市長は「必要な予算も、議会が審議し、承認を得ている。道の駅周辺整備を一層進める」

「学校のトイレ改修やエアコン等に必要な部分について整備している。教育部局と連携し進める」と答弁。

道の駅周辺整備は一層進める一方で、学校老朽化に対しては明確な考えがないのは、問題です。



街の声

10月から後期高齢者保険
医療費負担2倍に

後期高齢者の保険証が送られてきたが負担が2倍になっては生きていけない。（永和男性）

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

愛西市の読者ニュースが毎週
折り込まれます。
お申し込みは共産党市議まで